

事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.23)No.	3081	(H.24)No.	3081
-----------	------	-----------	------

事務事業名		緊急間伐促進事業			
担当部局名		担当室名		室長名	連絡先
産業部		農林資源室		西森 平太郎	63-7625
新・継	事業期間			根拠法令等	
新規	平成	23年度～	平成	年度	

事業区分 (複数選択可)	ソフト施策事業
	扶助費
	補助金交付金
	投資事業
	施設等維持管理
	内部管理事務
	特別及び企業会計、組合

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	2	美しい自然に包まれた、憩いと潤いのある暮らし
	基本政策	3	新しい名張農業の振興と農山村の整備
	施策	2	森林環境整備
	小施策	1	林業振興
重点施策コード			

2. 予算区分

会計区分		事業コード	340511
一般会計		(中事業名)	
款	農林水産業費	林業振興対策費	
項	林業費	(小事業名)	
目	林業振興費	緊急間伐促進事業	

3. 事務事業の概要

事業概要	
<p>森林の適正な管理を行うため、十分な手入れが行われていない森林において間伐を行う森林所有者に対し補助金を交付する。 市内に所在する1箇所あたり概ね0.1ha(1,000㎡)以上のスギ又はヒノキの人工林で、当該年度内に事業完了することを条件に、間伐の本数に応じて補助金を交付する。</p>	

めざす効果(事業目的)	
<p>市内にある間伐等適正な管理がされていない森林が、当該事業により適正に間伐され、木材生産や自然環境保全など公益的機能を発揮することを目指す。 さらに、その有益性が周辺森林所有者に対し波及効果を有することを見込む。</p>	

4. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	平成23年度 (実績・決算見込)		平成24年度 (計画・作成時予算額)			
	[事業内容(事業量)・事業費]		[事業内容(事業量)・事業費]			
主な事業の実績・計画	概ね5ha程度の間伐に伴う補助金 補助件数 3件 (2.5ha)		概ね5ha程度の間伐に伴う補助金 補助件数 5件 (4ha)			
			概ね5ha程度の間伐に伴う補助金 補助件数 10件	概ね5ha程度の間伐に伴う補助金 補助件数 10件	概ね5ha程度の間伐に伴う補助金 補助件数 10件	
直接事業費	499千円	500千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
財源内訳 (千円)	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他()					
一般財源	(0) 499	500	1,000	1,000	1,000	
人工数	職員		0.08人	0.08人	0.08人	0.08人
	臨時職員等		0.01人	0.01人	0.01人	0.01人
概算人件費	(0千円) 0千円	601千円	601千円	601千円	601千円	
+ 総事業費	(0千円) 499千円	1,101千円	1,601千円	1,601千円	1,601千円	

現在の実施手法(複数選択可)	
市が直接実施	
業務委託(全部・一部)により実施	
指定管理	
補助金・交付金	
その他 ()	

概算人件費 は、人工数に便宜上、1人当たり年間平均人件費(市一般会計全体、共済費を含む額)を乗じた数値を記載しています。
平成23年度の()内の数値は、22年度からの繰越事業費で、外数で記載しています。
特別会計及び組合会計の一般財源欄には当該会計上の一般財源を、企業会計の一般財源欄には一般会計繰入金を記載しています。
平成25年度以降の計画(内容及び総事業費)については、予定であり確定したものではありません。

5. 主な事業指標と成果

事業指標名		単位	H.20 (現状値)	H.21	H.22	H.23	H.24
活動指標	目標	補助金交付件数	-	-	-	-	5
	実績		-	-	-	3	
	目標						
	実績						

6. 考察(前年度の評価)及び今後の対応方針

考察(前年度の評価-各指標等)	今後の対応方針
補助件数は3件(2.5ha)と少なかったが、展示林として啓発看板を設置したことで、今後周辺森林所有者に間伐の有益性が波及するものと期待出来る。さらに、間伐実施後、林生の経年変化の観察を進める。	適正な管理がされていない森林の森林所有者、特に小規模な森林所有者に対し、間伐の有効性・公益性を啓発する。また、当該事業を推進することが、森林の木材生産や自然環境保全など公益的機能の向上に繋げる。

7. 事業を取り巻く環境

事業環境の今後の変化 (対象者やニーズ、法令・制度の改正等)	市民・議会・事業関係者・団体等からのこれまでの主な意見
森林所有者の意識、特に小規模な森林所有者については、森林所有の意識も薄れがちであることから、森林の有効性・公益性を啓発することが求められる。	事業関係者(森林所有者から間伐作業を請けた森林事業者等)からは、当該事業による宣伝効果により、間伐の有益性が小規模林家にも浸透し、間伐の必要性が認められることで、施業集約化の機運が高まることが期待されるとの意見。

8. 担当室による点検[事務事業をより良く(最適化)するために]

点検項目	具体的内容(選択肢・の場合) (4)はの場合
(1) 現在の事業費内で、更に効果を高める方法や工夫等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	間伐の実施箇所を森林所有者をはじめとする市民に広く紹介することで、森林施業による林材価値の向上と環境に対する有効性を呼びかける。
(2) 効果・効率性の観点から他の事務事業と連携・統合を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(3) 新たな財源確保や受益者負担の見直し等を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できない	
(4) 事業に係る地域ビジョン(地区別計画含む)はあるか [選択肢] ある ない ない	
(5) 事業に地域ビジョンの内容を反映しているか(反映するか) [選択肢] 反映済み 反映を予定 反映予定なし(該当しない) 反映を予定	地域ビジョンのもと計画的に当該事業を実施することは可能。但し予算規模が小さいため1つの地域に集約的に補助することは困難。
(6) その他、有効性や効率性を高めるための工夫や取組を図ることができないか [選択肢] できる 検討余地がある できない できる	間伐の実施箇所を森林所有者をはじめとする市民に広く紹介することで、森林施業による林材価値の向上と環境に対する有効性を呼びかける。

9. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(事務改善) 継続(現行) 継続(拡大) 休止・廃止検討 事業完了(完了予定含む)
継続(拡大)
「継続(現行)」の場合のみ理由を記載

特記事項